

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日	3月 ~22日	3月 ~29日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	22	26	7	6	5	0	8
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	51	47	8	12	14	8	11
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	17	11	2	1	3	2	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	11	7	5	5	5	3	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	8	8	3	3	2	1	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第13週(3月23日~3月29日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	2				3	1	3
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	3	E型肝炎	1		1					
		レジオネラ症	2					1		1
五類	10	アメーバ赤痢	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1						1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	6		1	1		3		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 8年13週(3月23日～3月29日)

■コメント

1 感染性胃腸炎

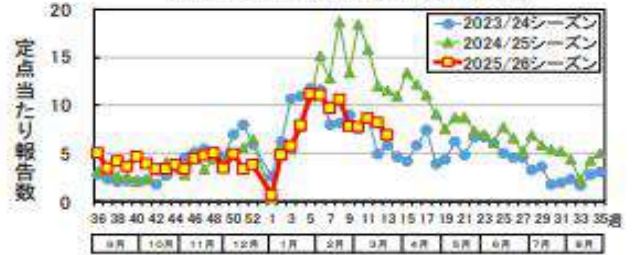
定点当たり6.86人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。感染予防のため、便・吐物は適切に処理しましょう。また、トイレの後、便・吐物を処理した後、調理の前、食事の前など、石けんと流水でこまめに手を洗いましょう。

2 インフルエンザ

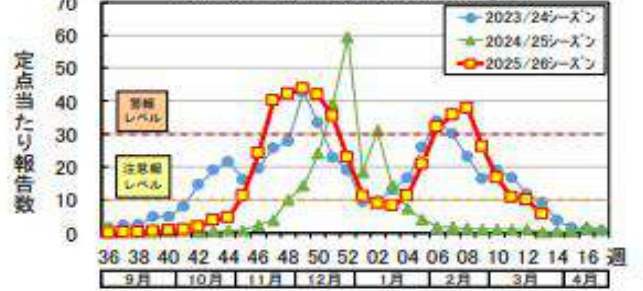
定点当たり5.44人の報告がありました。減少傾向ですが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は2件報告されています。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第13週 A型:0人、B型:21人

感染性胃腸炎の流行状況(広島市)



インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
A R I	急性呼吸器感染症(ARI)	1618	47.59			⇒	小児科	突発性発しん	4	0.19	0.22		
	インフルエンザ	185	5.44	3.99		⇓		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.02		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	12	0.35					流行性耳下腺炎	1	0.05	0.02		
小児科	RSウイルス感染症	6	0.29	0.53			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	5	0.24	0.36				流行性角結膜炎	1	0.13	0.50		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	2.00	1.37		⇓	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	144	6.86	5.53		⇓		無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	7	0.33	0.16				マイコプラズマ肺炎	3	0.50	0.17		
	手足口病	1	0.05	0.15				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.10				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.26		

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ⇓ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ⇓ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇓ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	32	60歳代、70歳代・推定感染地域: 国外、80歳代
4	レジオネラ症	1	4	80歳代
5	アメーバ赤痢	1	4	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	9	50歳代・推定感染地域: 国外、70歳代
5	梅毒	3	23	40歳代、40歳代・推定感染地域: 国外、50歳代